

# 第28回ろう教育を考える全国討論集会 in とっとり

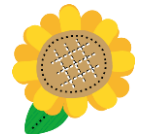
速報第4号

発行:2016年8月7日

テーマ ~手話言語条例制定後の教育と福祉の連携に向けて~

2016(平成28)年8月6日(土)~7日(日)

会場:とりぎん文化会館



## オープニング、開会式



鳥取聾学校生徒、教諭による発表「ソーラン節」



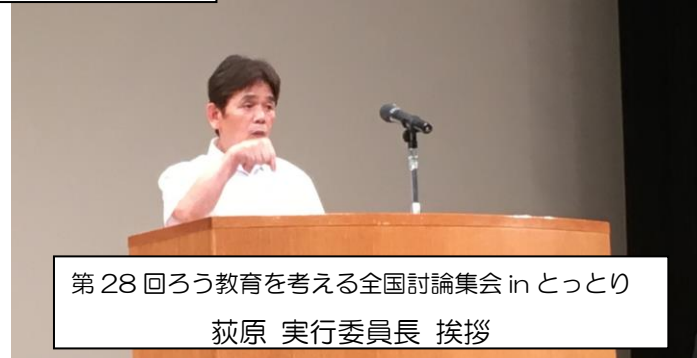
鳥取県 林 副知事 挨拶

総参加者数  
**284名**

6日10時~、オープニング・開会式が行われました。鳥取聾学校生徒によるソーラン節で元気よくスタート。開会式では、来賓の鳥取県 林副知事から手話での挨拶もありました。



ろう教育を考える全国協議会 小中 理事長 挨拶



第28回ろう教育を考える全国討論集会 in とっとり  
荻原 実行委員長 挨拶



ろう教育を考える全国協議会  
石橋 事務局長 基調報告

(主催) 特定非営利活動法人ろう教育を考える全国協議会

(主管) 第28回ろう教育を考える全国討論集会 in とっとり実行委員会 〒680-0841 鳥取市吉方温泉 3-701

鳥取市文化センター内 鳥取県東部聴覚障がい者センター 気付 FAX 0857-32-6071 TEL 0857-32-6070

# 記念講演

## テーマ：「手話言語条例と教育現場の取組み」



講演される鳥取県  
教育委員会教育長  
山本仁志氏 ▶



- 鳥取県教育委員会教育長である山本仁志氏より、手話言語条例制定後の鳥取県内の教育現場での手話普及の取組みについて、講演が行われました。
- 鳥取県における手話言語条例制定までの経過等の紹介の後、教育現場での取組みについて詳しい説明がありました。
- 具体的には、県内全ての小・中・高等学校、特別支援学校で手話の普及を進めるため、全生徒に手話の「学習教材（手話ハンドブック）」を配布したこと、また、各学校での手話学習を支援する「手話普及支援員派遣制度」を立ち上げたこと等の紹介がありました。
- こうした支援制度を整備した結果、鳥取県内の各学校では、着実に手話学習が広がり始めているということでした。
- 今の子どもたちが大人になったときの鳥取県はどうなっているのか、将来に期待が持てる、夢のある講演となりました。

### 小・中・高生企画

- 小学生5名が参加し、1日目は「山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」と「砂の美術館」の鑑賞と砂像作を体験しました。
- 鳥取砂丘レンジャーのガイドによる砂丘散策では、砂丘植物を教してもらったり、風紋ができる条件などを学びました。
- 2日目は「鳥取砂丘こどもの国」にてアスレチックを楽しみました。



### 交流会

- 鳥取シティホテルにて行われた交流会には74名が参加し、鳥取じげの味に舌鼓を打ちながら、同じテーブルの仲間と交流を深めました。
- 鳥取をより楽しんでもらうために、「鳥取県を知ろう！クイズ」、「<sup>いなば</sup>因幡の傘踊り」（写真下）、「鳥取県おすすめ手話観光ガイド」の動画上映など、参加者と一緒に盛り上がった交流会となりました。

